

平成 30 年度 墨田区立吾嬬第二中学校 経営報告書

平成 31 年 3 月 13 日

学 校 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、正しい判断のできる生徒 (自ら進んで学習に取り組み、よく考え、判断して行動することができる生徒を育てる。) ・思いやりのある生徒 (人と協力し、何事にも一生懸命になれ、人間関係が上手に築ける生徒を育てる。) ・心身ともに健康な生徒 (自らの健康管理ができ、自分自身を大切にしながら、体力向上に取り組む生徒を育てる。)
目 指 す 学 校 像	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の定着と向上をめざす学校 (基礎・基本の定着と徹底) ・豊かな心と健康な身体を育む学校 (心の教育・健康教育の充実) ・保護者や地域住民の信頼に応える学校 (開かれた学校づくりの推進)
目 指 す 子 供 像	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日・毎時間の授業に集中し、各教科の基礎・基本を習得する生徒 ・規範意識を身に付け、人権を尊重し相互に高めあう心豊かな生徒 ・心身ともに健康で、困難なことにも粘り強く最後までやりぬく生徒
目 指 す 教 師 像	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが好きで、教えることを誇りとし、生徒に目を向けて教育活動を展開する教師 ・高い識見と豊富な知識を有し、生徒の人間性を高めるべく教育活動に取り組む教師 ・教育公務員としての自覚と責任の上に、自己の資質の向上のための研修に励む教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り期間での確実な実施から、春休みと4月の取組につなげる (D層生徒への課題提示)。 ・帯活動の継続による既習事項の定着、繰り返し学習による基礎基本の定着。 ・1週間単位での振り返り学習の実施。 ・授業のねらいを明確化。 ・放課後学習の活性化と補習教室の設定。 ・基本事項の問題練習を増加。 	B	B
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度への情報の引き継ぎを確実にし、次年度への対応を検討する。 ・早期の対応を行う。 ・関係機関との連携を図っていく。 ・教科担当も含め情報共有をきめ細かく実施。 ・支援員と学年・教科との連携を行う。 	B	B
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次から計画的な進路指導を行う。 ・外部講師による講話の実施。 ・学校としての指導体制を確立する。 	B	B
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	C	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教諭の授業参観を行う。 ・学校外での授業参観をし、学ぶ機会を増やす。 ・OJTによる授業研究を実施。 	C	B
	学校は、家庭学習の確立に向けた取組を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自習学習ノートやワークシートの活用を継続。 ・家庭学習用課題を増やすとともにチェックを確実に実施。 ・計画的に課題を出し自主的に取り組めるようにする。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・「教員の指導力・授業力を高める」の自己評価は、もっと高くてもよいのではないかと。 ・引き続き学力向上のための努力をしてほしい。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・SCやSSWとの連携をさらに深める。 ・情報交換を密にして、学校全体で取り組む。 	B	B

様式 4

導 等	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの習慣を身に付けさせたい。 ・挨拶、時間厳守の姿勢を教員が示す。 ・個別の指導を丁寧に行う。 	B	B
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・無言避難の徹底とやり直しの徹底。 ・安全ニュースを活用。 	B	B
	学校は、人権尊重教育を推進しているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやり」の道徳の授業の実施。 ・人権トラブルを防止する取組の実施。 	C	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・「人権教育の推進」の自己評価は、人権尊重教育推進校の取組から考えると、Aでよいのではないか。 ・あいさつの習慣や交通マナー等について、引き続き指導してほしい。 			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学 校 の 管 理 運 営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・週案活用による計画的な指導の実施。 	B	B
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各種調査結果の授業等への活用。 	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き環境・設備の維持に努める。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい校舎と校庭であるが、改善が必要な箇所について確認しておく必要がある。 			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家 庭 ・ 地 域 連 携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの改善を行う。 	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク等を利用した実践を実施する。 ・外部人材の積極的な活用 ・校外での活動（PTA等）の参加を増やす。 	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・メール配信の活用やホームページの更新をお願いしたい。 			

様式 4

2 平成 30 年度学校評価のまとめ

- ・保護者アンケートや地域アンケートともに、質問に対して肯定的な回答が 80%前後のものが多く、また、生徒の授業評価の肯定的な回答も 85%以上のものがほとんどであり、本年度の教育活動についてよい評価を得られた。アンケート評価の成果指標については、ほとんど達成できた。
- ・確かな学力を育てることについては、区学習状況調査や都学力調査での改善に見られるように、成果が上がってきている。引き続き学習内容の定着を図る取組の工夫や授業改善に取り組む。
- ・あいさつの習慣や登校時の交通マナーについては、改善されている面も見られが、引き続き学校と保護者・地域が連携して生徒に働きかけていく必要がある。
- ・保護者や地域と学校とが、よいコミュニケーションをとりつつ連携できているので、その状態を維持できるよう、今後も努力していく。

以上の通り報告いたします。

墨田区立吾嬬第二中学校 校長 渋谷 俊昌 公印